



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 大同工業株式会社

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 菊知 克幸

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	23,068	6.5	1,396	33.3	1,261	4.6	492	△37.0
27年3月期第2四半期	21,656	3.2	1,047	△13.2	1,205	△19.7	782	△9.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 53百万円 (△95.6%) 27年3月期第2四半期 1,214百万円 (△43.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.47	—
27年3月期第2四半期	16.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	56,961	25,554	35.6	431.06
27年3月期	58,014	25,893	35.7	439.44

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,288百万円 27年3月期 20,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,700	4.8	2,400	12.9	2,300	△10.8	1,100	14.4	23.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	47,171,006 株	27年3月期	47,171,006 株
28年3月期2Q	103,976 株	27年3月期	102,495 株
28年3月期2Q	47,067,384 株	27年3月期2Q	47,069,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の改善基調が続いているものの、中国経済の成長ペースが鈍化し、資源安・通貨安の影響を受け新興国でも成長が鈍化したこと等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。国内においては、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善傾向により緩やかな回復基調が続きました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、国内では、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、厳しい受注状況であったものの、アセアン、インド、欧州を中心に、二輪車用チェーンの受注が好調に推移し、また、北米では、昨年後半から四輪車メーカーへの量産納入を開始したこと等により、受注は堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,068百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1,396百万円（前年同期比33.3%増）、経常利益は1,261百万円（前年同期比4.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、492百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

二輪車用チェーンにおいて、為替の円安を背景とした国内完成車メーカーの生産増加による受注の増加に加え、欧米を中心とした補修市場向けの受注が好調に推移したものの、四輪車用チェーンにおいて完成車メーカーの海外生産移管の影響等により受注が低調であるとともに、産業用チェーンにおいても製鉄・セメント関連の設備投資が依然低調であった結果、売上高は前年同期比5.0%減少の11,627百万円となりました。

②アジア

二輪車用チェーンにおいて、アセアン市場向けの受注が好調に推移したこと、さらに昨年一貫生産を開始したインドにて着実に受注が増加するとともに、四輪車用チェーンにおいてはタイ及びインドネシアを中心に、コンベヤ関連においてはタイ及び中国を中心に受注が好調であった結果、売上高は前年同期比17.8%増加の6,797百万円となりました。

③北米

四輪車用チェーンにおいて、組立生産の本格稼動に伴う完成車メーカーへの量産納入を昨年後半より開始したことに加え、産業用チェーンにおいて、景気回復に伴い受注が順調に推移した結果、売上高は前年同期比92.6%増加の2,404百万円となりました。

④南米

市場の景気低迷により、完成車メーカーの受注が低調に推移した結果、売上高は前年同期比17.8%減少の1,367百万円となりました。

⑤欧州

二輪車用チェーンにおいて、昨年に続き補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、完成車メーカーの生産増加によりメーカー向けの受注も順調であった結果、売上高は前年同期比19.3%増加の872百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、建設仮勘定が127百万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が123百万円、建物及び構築物が127百万円、投資有価証券が649百万円減少したことなどにより1,052百万円減少し、56,961百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が210百万円増加したものの、借入金が443百万円、繰延税金負債が148百万円減少したことなどにより714百万円減少し、31,406百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金が257百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が494百万円、為替換算調整勘定が155百万円減少したことなどにより338百万円減少し、25,554百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ297百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には4,396百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,189百万円(前年同期は397百万円の獲得)となりました。これは主に、退職給付に係る負債の増減額が115百万円減少(前年同期は339百万円の減少)したものの、税金等調整前四半期純利益を1,257百万円(前年同期は1,257百万円)、減価償却費を1,120百万円(前年同期は1,020百万円)計上し、たな卸資産が183百万円減少(前年同期は191百万円の増加)したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,808百万円(前年同期は427百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出450百万円(前年同期は4百万円の支出)、有形固定資産の取得による支出1,347百万円(前年同期は1,016百万円の支出)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は782百万円(前年同期は735百万円の使用)となりました。これは主に、借入の返済による支出(純減額)が420百万円(前年同期は233百万円の支出)、配当金の支払額235百万円(前年同期は282百万円の支出)等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,293	5,411
受取手形及び売掛金	9,539	9,535
商品及び製品	3,885	3,773
仕掛品	2,050	2,103
原材料及び貯蔵品	2,546	2,423
繰延税金資産	447	502
その他	1,145	1,070
貸倒引当金	△38	△75
流動資産合計	24,871	24,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,697	5,569
機械装置及び運搬具(純額)	5,603	5,590
土地	3,024	3,009
リース資産(純額)	1,535	1,408
建設仮勘定	539	666
その他(純額)	771	759
有形固定資産合計	17,171	17,004
無形固定資産		
のれん	171	134
ソフトウェア	154	148
その他	18	16
無形固定資産合計	343	300
投資その他の資産		
投資有価証券	14,781	14,132
繰延税金資産	378	293
その他	430	451
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	15,589	14,876
固定資産合計	33,104	32,181
繰延資産		
社債発行費	38	35
繰延資産合計	38	35
資産合計	58,014	56,961

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,573	4,783
短期借入金	6,807	6,692
リース債務	286	262
未払法人税等	294	381
賞与引当金	505	534
役員賞与引当金	32	—
製品保証引当金	24	24
その他	2,786	2,590
流動負債合計	15,310	15,269
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	6,661	6,332
リース債務	490	441
繰延税金負債	2,130	1,981
退職給付に係る負債	2,848	2,732
その他	179	148
固定負債合計	16,810	16,137
負債合計	32,120	31,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	9,189	9,446
自己株式	△18	△19
株主資本合計	13,957	14,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,835	5,341
為替換算調整勘定	873	717
退職給付に係る調整累計額	17	15
その他の包括利益累計額合計	6,726	6,075
非支配株主持分	5,209	5,265
純資産合計	25,893	25,554
負債純資産合計	58,014	56,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	21,656	23,068
売上原価	17,118	17,928
売上総利益	4,537	5,140
販売費及び一般管理費	3,490	3,744
営業利益	1,047	1,396
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	130	138
為替差益	42	—
持分法による投資利益	105	76
その他	45	48
営業外収益合計	345	284
営業外費用		
支払利息	152	142
為替差損	—	238
その他	34	37
営業外費用合計	187	418
経常利益	1,205	1,261
特別利益		
固定資産売却益	76	—
特別利益合計	76	—
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	22	3
特別損失合計	24	3
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,257
法人税、住民税及び事業税	261	412
法人税等調整額	△25	99
法人税等合計	235	511
四半期純利益	1,021	745
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	782	492

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,021	745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	397	△471
為替換算調整勘定	△222	△202
退職給付に係る調整額	7	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△16
その他の包括利益合計	193	△691
四半期包括利益	1,214	53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,035	△158
非支配株主に係る四半期包括利益	179	212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,257
減価償却費	1,020	1,120
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△339	△115
受取利息及び受取配当金	△152	△159
持分法による投資損益 (△は益)	△105	△76
支払利息	152	142
有形固定資産売却損益 (△は益)	△76	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△492	4
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191	183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△653	121
その他	239	△0
小計	658	2,478
利息及び配当金の受取額	166	173
利息の支払額	△154	△143
法人税等の還付額	0	—
法人税等の支払額	△273	△318
営業活動によるキャッシュ・フロー	397	2,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△450
定期預金の払戻による収入	550	34
有形固定資産の取得による支出	△1,016	△1,347
有形固定資産の売却による収入	96	0
その他	△52	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△427	△1,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	218	21
長期借入れによる収入	204	26
長期借入金の返済による支出	△656	△467
セール・アンド・リースバックによる収入	95	135
配当金の支払額	△282	△235
非支配株主への配当金の支払額	△127	△156
その他	△187	△106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△735	△782
現金及び現金同等物に係る換算差額	△125	104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△891	△297
現金及び現金同等物の期首残高	4,088	4,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,197	4,396

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,241	5,771	1,248	1,664	731	21,656	—	21,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,618	240	—	—	6	2,864	(2,864)	—
計	14,859	6,011	1,248	1,664	737	24,520	(2,864)	21,656
セグメント利益又は損 失(△)	767	361	△35	20	35	1,149	(101)	1,047

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△101百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,627	6,797	2,404	1,367	872	23,068	—	23,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,163	216	—	—	—	3,379	(3,379)	—
計	14,791	7,013	2,404	1,367	872	26,448	(3,379)	23,068
セグメント利益又は損 失(△)	970	490	82	△131	56	1,468	(72)	1,396

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。